

ナブテスコ株式会社

2021年12月期第2四半期 決算説明会

2021年8月10日
CEO 寺本 克弘

当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。
当資料に掲載されている内容のうち数値は表示単位未満を切り捨て、比率は四捨五入して表示しています。
本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用することを禁じます。

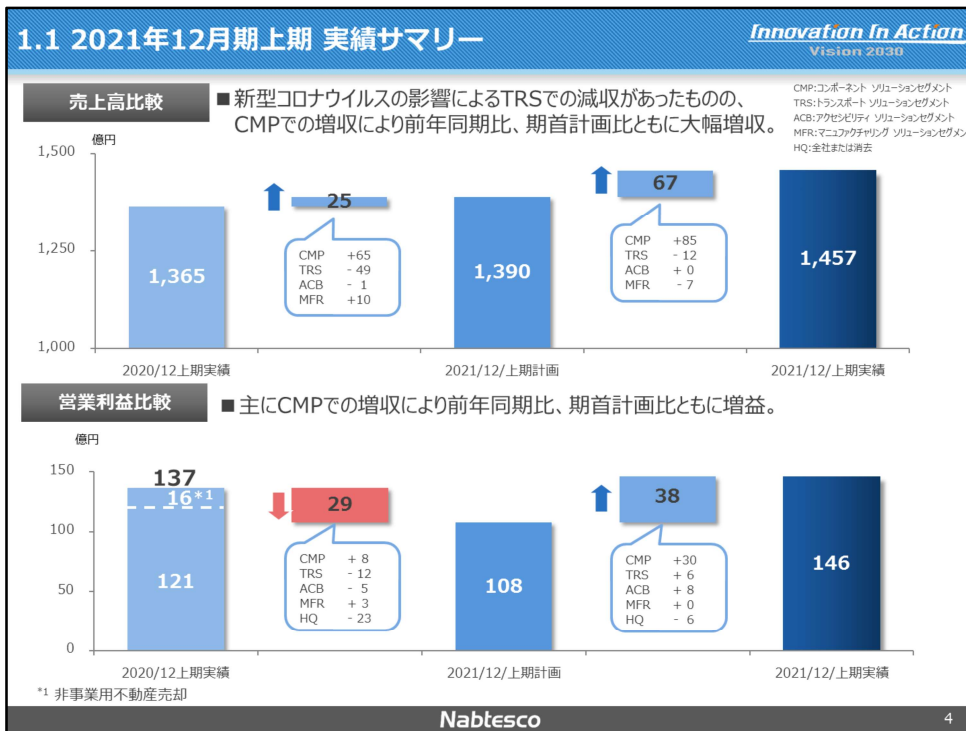
1. サマリー

2. 2021年12月期 上期連結業績概況

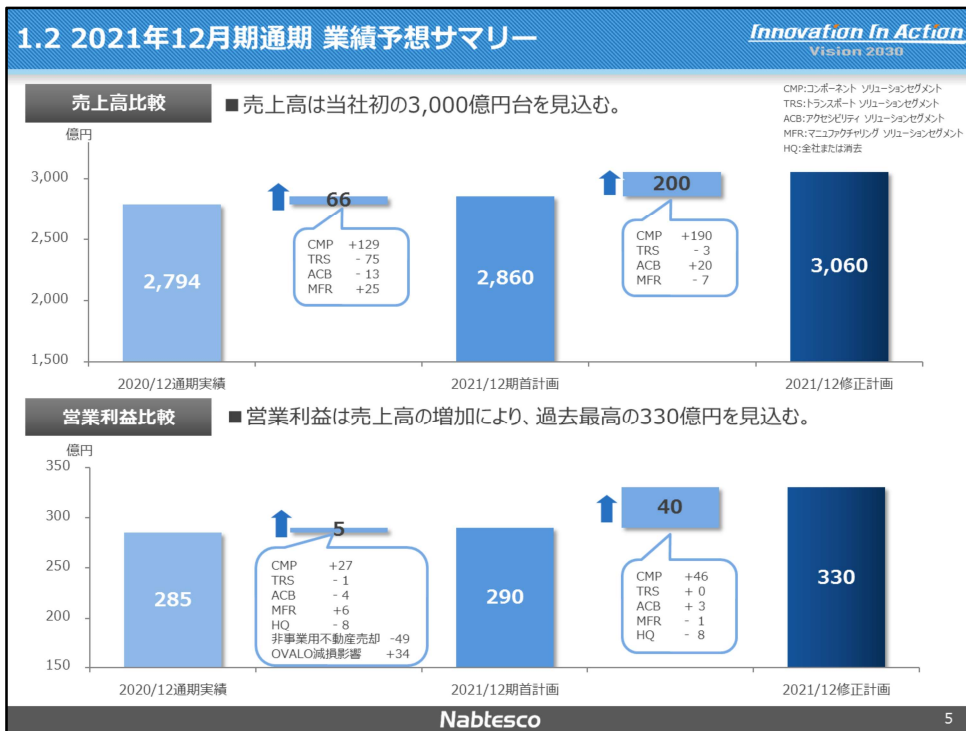
3. 2021年12月期 通期連結業績見通し

4. 2021年12月期 上期トピックス

1. サマリー



営業利益: 2021/12計画比では、CMPの増収による増益に加えて、TRSの構成差や費用削減などの努力により計画比増益。



CMPセグメントでの需要の増加により、売上と営業利益を上方修正。
 3000億円の売上及び330億円の営業利益は過去最高。
 修正計画の売上及び営業利益は、20年度の期首計画の数値と同水準。新型コロナの影響により1年遅れで達成する見込み。

2. 2021年12月期 上期連結業績概況

2.1 2021年12月期上期 セグメント別売上、営業利益実績 *Innovation In Action*
Vision 2030

■ CMPの需要増加により、全体でも前年同期比で増収増益を確保。



【セグメント別上期概況】

CMP: 精密減速機事業:世界的な自動車産業での設備投資の高まりから、産業用ロボット需要が旺盛。一般産業向けも需要が拡大。
油圧機器事業:中国での第1四半期の高い需要に加え、欧米・東南アジア市場が回復。

TRS: 鉄道車両用機器事業:新型コロナウイルス影響により、海外向け案件の入札遅れや国内の新車案件およびMRO*1需要が低迷。
航空機器事業:民間航空機の大幅な減産の影響に加え、防衛装備品調達計画の谷間により需要が低迷。
商用車用機器事業:国内における需要が回復。**船用機器事業:**国内外においてMRO*1が堅調。

ACB: 自動ドア事業:プラットフォームにおいては国内鉄道事業者の投資先送りがあるが、国内外の建物用ドアの需要が堅調。

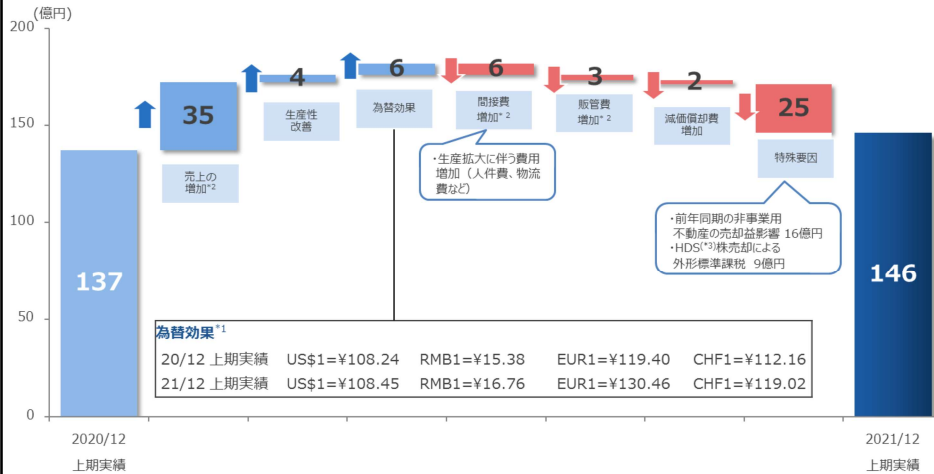
MFR: 包装機事業:外食産業での不振により国内需要は伸び悩む一方、中国での需要が増加。

HQ: 前年同期では非事業用不動産の売却益(約16億円)を計上したことに加え、当年では外形標準課税(約9億円)が増加。

*1 MRO: Maintenance, Repair, Overhaul

2.2 2021年12月期上期 営業利益変動要因分析
(2020年上期実績比)

■ 前年同期での特殊要因を「増収による利益増」および「生産性改善」で補い、対前年同期比増益を確保。



*1為替感応度(為替が1円変動したときの営業利益に対する影響): 米国ドル 軽微 人民元 511 百万円 ユーロ 軽微 スイスフラン 軽微

*2 売上および販管費等の増減による営業利益の変化については為替影響を除き計算。

*3 HDS: 株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ

2.3 2021年12月期上期 バランスシート(2020年12月期末比)

Innovation In Action
Vision 2030

- 資産の増加は主にHDS^{*1}の株式評価益によるもの。
- HDS^{*1}株式売却により得た資金を活用し、200億円の自己株買いを実施済。

(単位：億円)	2020/12期末 2020/12/31	2021/12 上期末 2021/6/30	差異
資産	3,517	4,986	1,469
(現金等) ^{*2}	647	1,148	502
(売上債権)	759	655	-104
(持分法で会計処理されている投資)	349	147	-202
(非流動資産の他の金融資産) ^{*3}	126	1,329	1,203
負債	1,401	2,413	1,012
(社債及び借入金)	399	260	-139
(非流動負債の他の金融負債) ^{*2}	1	779	778
(未払法人税等及び長期繰延税金負債) ^{*3}	116	417	300
資本	2,116	2,573	457
(自己株式) ^{*4}	-25	-232	-207
(非支配持分)	136	133	-3
親会社所有者帰属持分 ^{*3}	1,980	2,440	460
親会社所有者帰属持分比率：	56.3%	48.9%	
(HDS株式会社持分適用除外影響除きの親会社所有者帰属持分比率：)		(56.5%)	

^{*1} HDS：株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ

^{*2} HDS株式の一部売却に伴う増加

^{*3} HDS株式等の評価替えによる増加

^{*4} 自己株買いにより取得した自己株式(4,069,700株)は7月15日付けで全株式を売却済

Nabtesco

9

資産の増加・負債・資本の増加は、主にHDS株式の一部売却や同社株式の評価益を計上した影響。

HDSの持分法適用除外による影響を除くと、親会社所有者帰属持分比率は56.5%であり、従来通り健全なバランスシートを維持している。

3. 2021年12月期 通期連結業績見通し

3.1 2021年12月期通期 連結業績見通し

Innovation In Action
Vision 2030

■CMPでの好調な需要が継続することから、売上・営業利益の業績予想を上方修正。

(単位：億円)	2020 /12 通期実績	2021/12 2/10期首計画 HDS*2 株式評価益含む	2021/12 7/30修正計画	
			HDS*2株式評価益含まず	HDS*2株式評価益含む
売上高	2,794	2,860	3,060	
営業利益	285	290	339	330
(営業利益率)	10.2%	10.1%	11.1%	10.8%
金融損益 (うちHDS評価益)	17	1,329	16	1,346
	-	(1,355)	-	(1,355)
持分法利益	35	11	14	14
税引前利益	337	1,630	369	1,690
当期利益*1	205	1,122	240	1,108
R O E	10.6%	46.9%	12.3%	46.5%
一株当たり配当金	75円	77円(予)	77円(予)	77円(予)
配当性向	45.4%	8.2%(予)	38.9%(予)	8.4%(予)
自己株取得	-	200(済)	-	200(済)
総還元性向	45.4%	26.2%(予)	-	26.4%(予)
HDS*2評価益の株価*3	-	8,400円/株	-	8,400円/株

*1 当期利益 = 親会社の所有者に帰属する当期利益

*2 HDS：株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ

*3 税引前利益に含まれるHDSの持分法適用除外に伴う評価益等については、2021年12月末時点の株価を予測することが困難であるため、期首計画から変更していません。

3.2 2021年12月期 通期セグメント別売上高、営業利益見通し

コンポーネントソリューションセグメント (CMP)



CMP:期首計画を上方修正

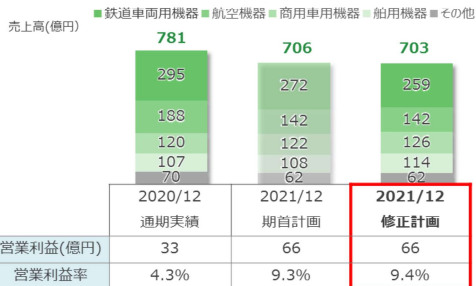
【売上】

- ・精密減速機事業：
産業用ロボット向けにおいては、自動車産業や一般産業での自動化ニーズにより需要が更に拡大するとともに、工作機械向け等での好調な需要により売上は期首計画比増収。
- ・油圧機器事業：
上期での中国市場における高い需要に加え、欧米や東南アジア市場での需要回復により売上は期首計画比増収。

【営業利益】

- ・売上増により、期首計画比で増益を見込む。

トランスポートソリューションセグメント (TRS)



TRS: 期首計画を維持

【売上】

- ・鉄道車両用機器事業：
コロナ影響により海外案件での入札遅れ及び国内でのMRO需要が減少し売上は期首計画比減収。
- ・商用車用機器事業・船用機器事業：
需要が堅調に推移し、売上は期首計画比で増収。

・その他事業：

- 期首計画並み。

【営業利益】

- ・期首計画並みを見込む。

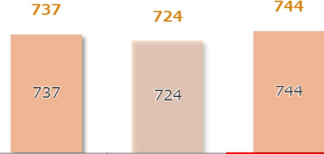
3.3 2021年12月期 通期セグメント別売上高、営業利益見通し

Innovation In Action
Vision 2030

アクセシビリティソリューションセグメント (ACB)

売上高(億円)

■ 自動ドア



	2020/12 通期実績	2021/12 期首計画	2021/12 修正計画
営業利益(億円)	77	73	76
営業利益率	10.5%	10.1%	10.2%

ACB：期首計画を上方修正

【売上】

- ・建物用ドア：
海外子会社での為替効果に加え、国内外とも更新需要の獲得により、売上は期首計画比増収。
- ・プラットフォームドア：
売上は期首計画並み。

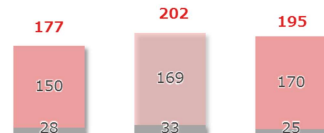
【営業利益】

- ・売上の上方修正に伴い、期首計画比で増益を見込む。

マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR)

売上高(億円)

■ 包装機 ■ その他



	2020/12 通期実績	2021/12 期首計画	2021/12 修正計画
営業利益(億円)	23	29	28
営業利益率	13.1%	14.4%	14.4%

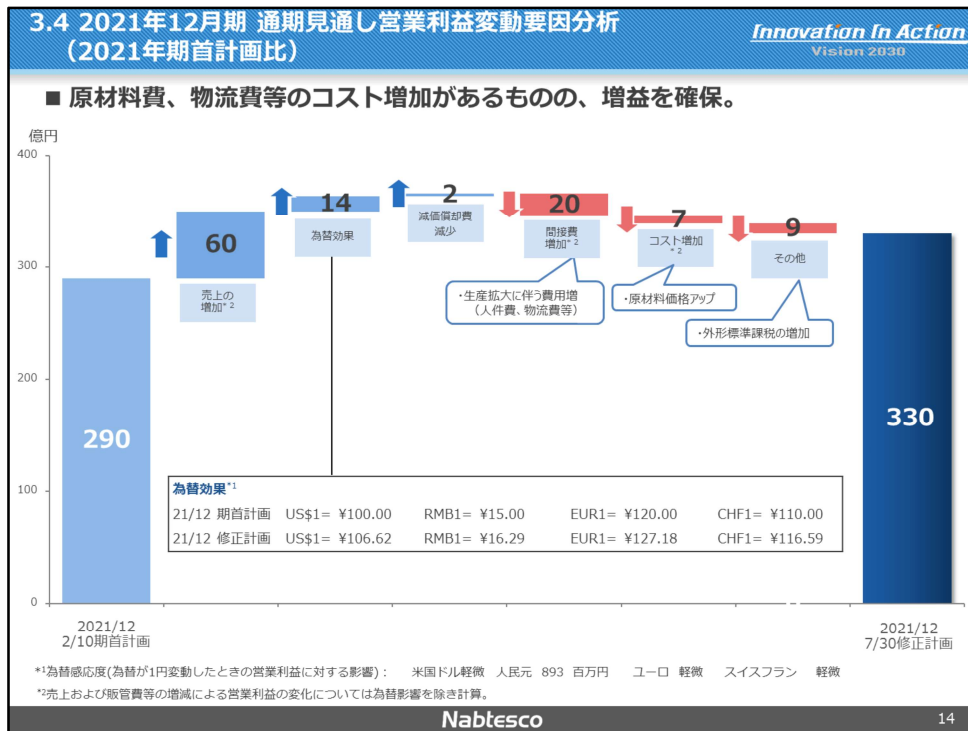
MFR：営業利益は期首計画を維持

【売上】

- ・包装機事業：
国内の外食向け減少を好調な海外需要で補い、売上は期首計画並み。
- ・その他：
新型コロナの影響による、国内外案件の先送りにより、売上は期首計画比で減収。

【営業利益】

- ・営業利益は期首計画並みを見込む。



円安の為替効果及び売上増による増益はあるが、間接費の増加や原材料の価格上昇によりコスト増加を見込み、増益幅は限定的。

設備投資・研究開発・減価償却

■精密減速機の継続的な需要拡大を見込み、生産能力増強設備投資を実施。

(単位: 億円)	2017/12 通期実績	2018/12 通期実績	2019/12 通期実績	2020/12 通期実績	2021/12 期首計画	2021/12 修正計画	2020/12 上期実績	2021/12 上期実績
設備投資額	188	203	164	151 ^{*1}	127	133 ^{*3}	103 ^{*1}	47
研究開発費	87	102	99	90	109	109	44	48
減価償却費	90	100	131 ^{*2}	137 ^{*2}	136 ^{*2}	134 ^{*2}	67	66

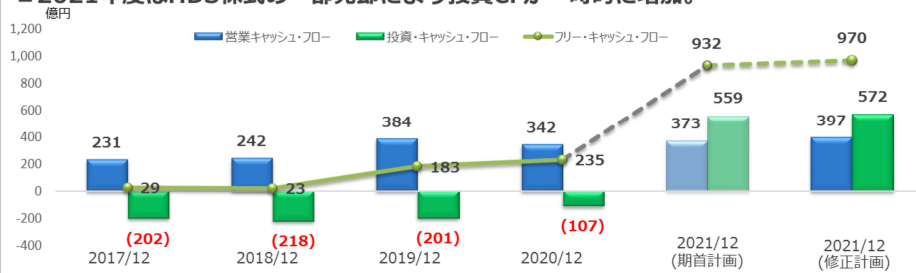
^{*1} 精密減速機の将来の需要拡大を想定し、浜松工場用地を取得(57億円)

^{*2} 2019年12月期よりIFRS16号「リース」を適用したため、減価償却費が増加しています。

^{*3} TRSでの設備投資を減額、精密減速機向けの設備投資を増額。

キャッシュフロー

■2021年度はHDS株式の一部売却により投資CFが一時的に増加。



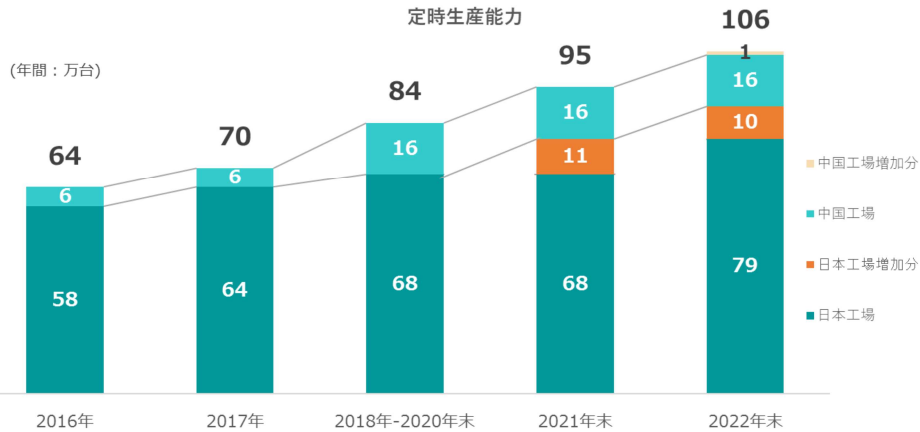
4. 2021年12月期 上期トピックス

4.1 上期トピックス

Innovation In Action
Vision 2030

精密減速機生産能力拡大計画 定時生産能力*1

- 2021年2Qでは日本工場（三重県津市）の稼働率が120%となったため、生産能力増産投資を再開。2021年12月末に日本工場で79万台の定時生産能力を確保。
- 2022年以降も需要増加を想定し、既存の日本工場で更に10万台の能力増強を計画。その後は日本での第二工場（静岡県浜松市）の稼働開始で需要の増加に対応予定。



*1 定時生産能力：3交代×20日稼働/月×12か月での年間生産能力

Nabtesco

17

今後、精密減速機の需要はさらに拡大すると期待している。高い需要に応え、納期を守る為にも、生産能力の拡大を再開する。

気候変動
対応への
取り組み

- カーボンフリーに向けた新長期目標を策定

長期目標	2030年度	2050年度
地球温暖化防止 二酸化炭素排出量の削減（2015年基準） グローバル売上単位の低減・グローバル総排出量の削減	63%	100%

- 自動ドア事業 国内販売会社の営業活動用車両をEVに

CO₂排出削減の目標を実現するため、ナブコシステム（株）とナブコドア（株）は、段階的に営業活動用の社用車をEV車に置き換える。
（2026年までに当面置き換え可能な約120台についてBEV*1/PHEV*2車に置き換える）

新規事業
創出

- CVC推進室の設立

- ・新規事業の創出活動を強化・加速するため、2021年7月1日付で「CVC*3推進室」を新設。
- ・本年2月に策定した新長期ビジョン「未来の“欲しい”に挑戦しつづけるイノベーションリーダー」の実現と決定の迅速性を目的に、CEO直轄組織として設置。

*1 BEV: Battery Electric Vehicle

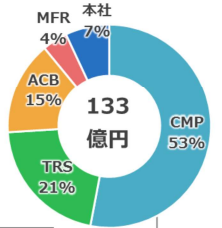
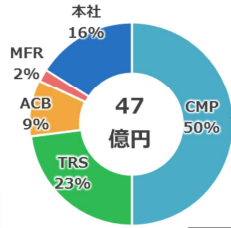
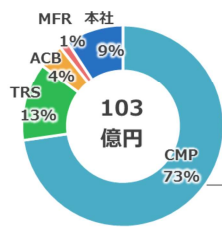
*2 PHEV: Plug-in Hybrid Electric Vehicle

*3 CVC: Corporate Venture Capital

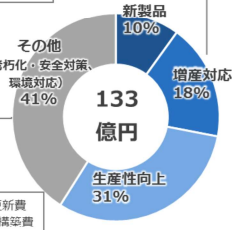
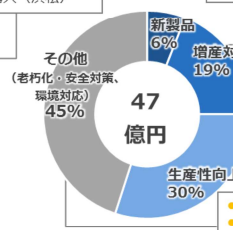
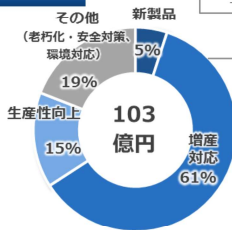
APPENDIX

設備投資額内訳

セグメント別



目的別



2020/12 上期実績

2021/12 上期実績

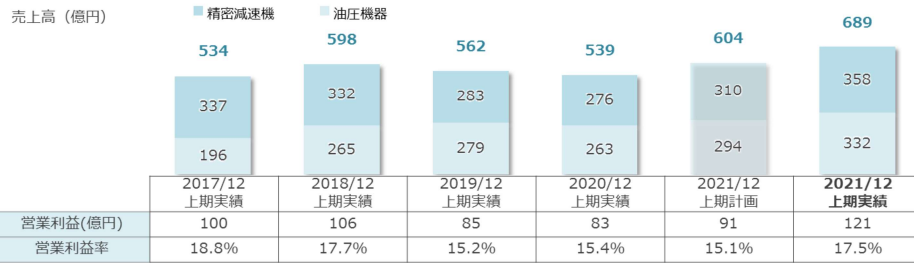
2021/12修正計画

*Product Lifecycle Management

コンポーネントソリューションセグメント (CMP)

上期実績

売上高 (億円)



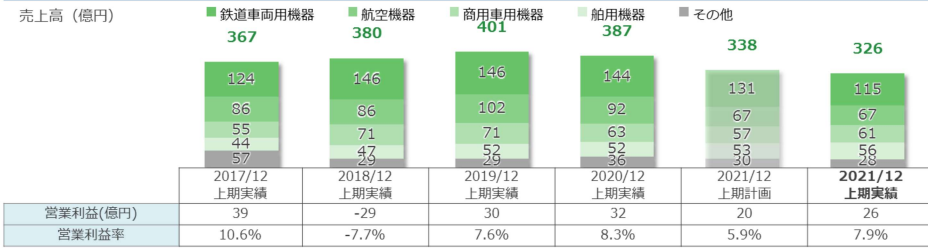
通期予想

売上高 (億円)

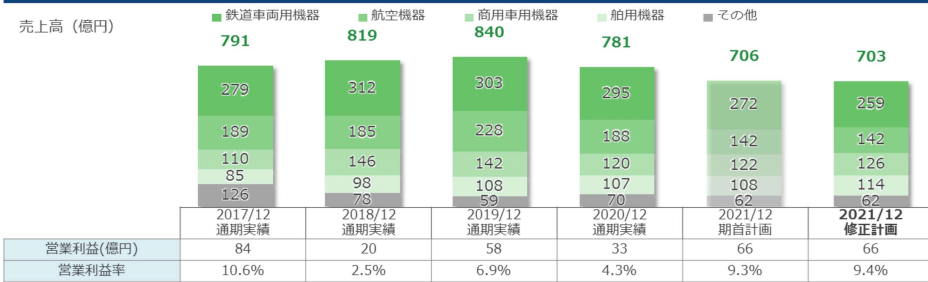


トランスポートソリューションセグメント (TRS)

上期実績



通期予想



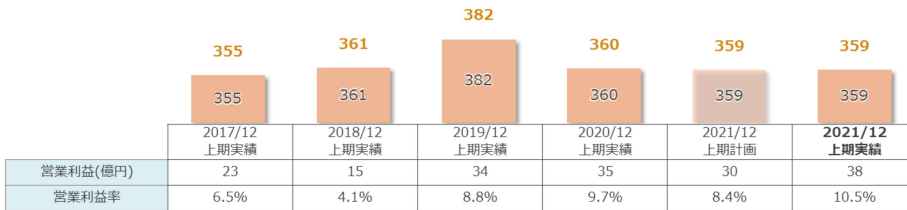
ナブテスコサービスの売上は2018/12通期以降で消去調整を行いましたのでそれ以前と単純比較ができません。

アクセシビリティソリューションセグメント (ACB)

上期実績

売上高 (億円)

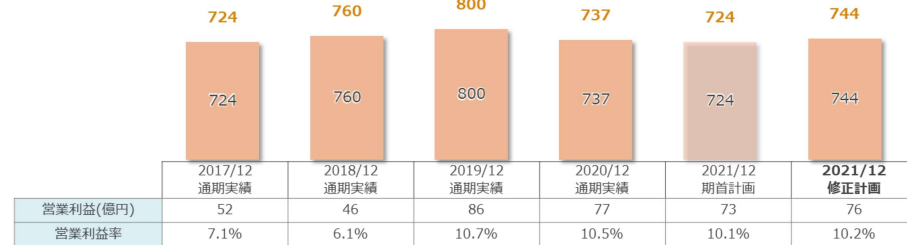
■ 自動ドア



通期予想

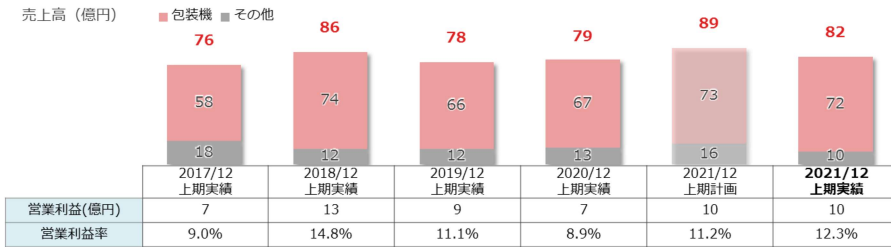
売上高 (億円)

■ 自動ドア

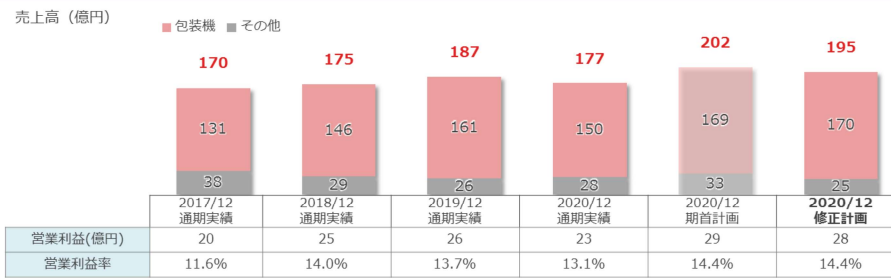


マニュファクチャリングソリューションセグメント (MFR)

上期実績



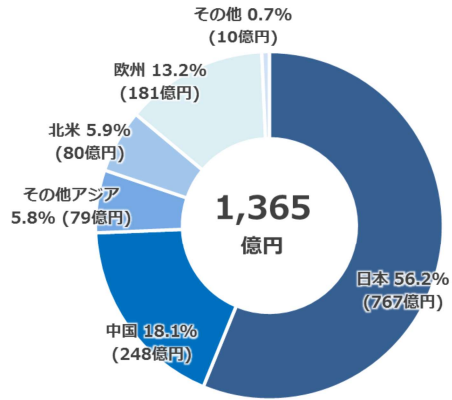
通期予想



Nabtesco

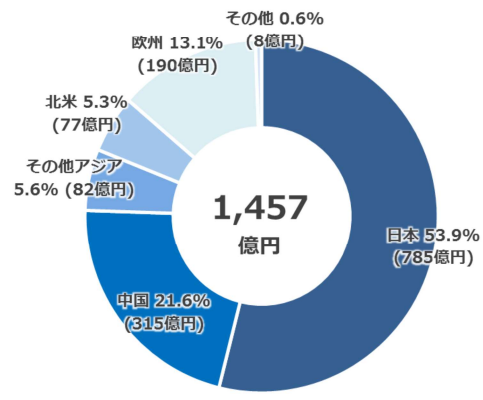
24

2020/12 上期実績



海外売上高	598億円
海外売上高比率	43.8%

2021/12 上期実績

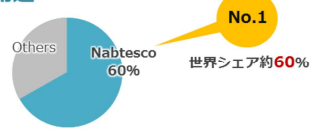


海外売上高	672億円
海外売上高比率	46.1%

コンポーネントソリューションセグメント (CMP) 主要製品

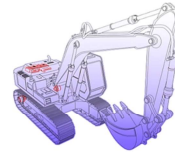
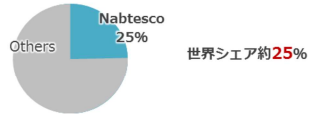
精密減速機

■ 中大型産業用ロボットの関節用途



油圧機器

■ 油圧ショベル用走行ユニット



主要顧客 (敬称略)

■ 精密減速機

産業用ロボット：ファナック、安川電機、川崎重工業、KUKA Roboter (独)、ABB Robotics (スウェーデン)
工作機械：ヤマザキマザック、オークマ、DMG森精機

■ 油圧機器

走行ユニット：コマツ、コベルコ建機、住友建機、Sany (中)、XCMG (中)、Liu Gong (中)

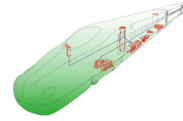
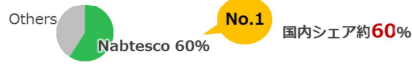
トランスポートソリューションセグメント (TRS) 主要製品

鉄道車両用機器

■ 鉄道車両用ブレーキシステム



■ 鉄道車両用ドア開閉装置



航空機器

■ フライトコントロール・アクチュエーションシステム(FCA)

- FCAでは世界4強の1社(ボーイングの主要サプライヤー)
- エンジン補機、電源システム等へも事業展開



主要顧客 (敬称略)

■ 鉄道車両用機器

JR各社、民鉄各社、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け

■ 航空機器

Boeing (米)、川崎重工業、三菱重工業、IHI、防衛省、エアライン各社

トランスポートソリューションセグメント (TRS) 主要製品

商用車用機器

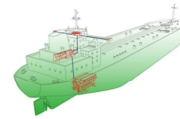
■ 商用車用ウェッジチャンバー Others Nabtesco 75% **No.1** 国内シェア約**75%**

■ 商用車用エアドライヤー Others Nabtesco 70% **No.1** 国内シェア約**70%**



船用機器

■ 船用エンジン遠隔制御システム Others Nabtesco 50% **No.1** 国内シェア約**50%**
(世界シェア約40%)



主要顧客 (敬称略)

■ 商用車用機器

日野自動車、いすゞ自動車、三菱ふそうトラック・バス、UDトラックス

■ 船用機器

川崎重工業、(株)日立造船、(株)ジャパンエンジンコーポレーション、マキタ、三井E&Sマシナリー、Hyundai Heavy Industries (韓)、HSD Engine Co., Ltd.(韓)、Hudong Heavy Machinery (中)、MAN Diesel (デンマーク)

アクセシビリティソリューションセグメント (ACB) 主要製品

自動ドア

■自動ドア開閉装置



■プラットホームスクリーンドア



主要顧客 (敬称略)

■自動ドア

各種建物用自動ドア：大手ゼネコン他建設工事会社、サッシメーカー、病院、銀行、公共機関
プラットホームドア：フランス地下鉄、中国地下鉄、他

マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR) 主要製品

包装機

■レトルト食品用充填包装機



主要顧客 (敬称略)

■包装機

三井製糖、味の素、丸大食品、アリアケジャパン、ケンコーマヨネーズ、P&G、花王、ライオン、北米飲料メーカー、中国食品メーカー

うごかす、とめる。
Nabtesco